

解答

①・②・⑧

解答解説

① 正解

選択肢の和訳

支配的な言語によって教育、雇用、公共サービスを利用できる一方、少数言語が社会的に不利な立場と結び付けられることがあるため、話者は祖先から受け継いだ言語を捨てる場合がある。

本文の対応箇所

第2段落

A dominant language may be required for higher education, employment, or access to public services.

「支配的な言語が、高等教育、就職、公共サービスの利用に必要とされる場合がある。」

Minority languages may also be associated with poverty, rural life, or social disadvantage.

「少数言語は、貧困、農村生活、社会的に不利な立場と結び付けられることもある。」

解説

選択肢の provide access to education, employment, and public services は、本文の required for higher education, employment, or access to public services に対応している。また、少数言語が社会的不利益と結び付けられることも本文に明記されている。したがって本文と一致する。

② 正解

選択肢の和訳

言語が消滅すると、環境に関する知識や文化的表現が失われる可能性があり、それらの意味全体を翻訳によって常にうまく伝えられるとは限らない。

本文の対応箇所

第3段落

A community living in a particular environment may possess detailed vocabulary for local plants, weather conditions, animals, or methods of farming. 「特定の環境に暮らす共同体は、地域の植物、気象条件、動物、農法について詳しい語彙を持っている場合がある。」

Such knowledge is not always easily translated into a dominant language.

「そのような知識は、支配的な言語へ必ずしも容易に翻訳できるわけではない。」

第4段落

Songs, oral histories, jokes, and ceremonies often depend on particular sounds, rhythms, and associations that cannot be fully preserved in translation.

「歌、口承の歴史、冗談、儀式は、翻訳では完全に保存できない特有の音、リズム、連想に依存していることが多い。」

解説

選択肢の environmental knowledge は、植物・天候・動物・農法についての知識に対応する。また、文化的表現の意味や感情的な力は、翻訳で完全には保存できないと述べられている。したがって本文と一致する。

③ 不正解

選択肢の和訳

本文は、政治的圧力、経済的不平等、文化的アイデンティティーに対する話者の態度とは無関係に、近代化によって少数言語が自然に消滅すると述べている。

本文の対応箇所

第1段落

Although language loss is often regarded as an unavoidable consequence of modernization, its causes and effects are more complicated than they first appear.

WPM Over 150 を目指す

「言語の消滅は近代化の避けられない結果だと考えられることが多いが、その原因と影響は、一見したところよりも複雑である。」

第 2 段落

In many cases, political and economic pressures influence their decisions.

「多くの場合、政治的・経済的圧力が、人々の決断に影響を与える。」

解説

本文は、言語の消滅が近代化によって自然に起こるという単純な見方を否定している。実際には、政治的・経済的圧力や社会的偏見などが影響する。したがって不一致。

④ 不正解

選択肢の和訳

辞書や文法記録があれば、会話、家庭生活、日常的な意思伝達で使われなくなった後でも、一般に言語を十分に保存することができる。

本文の対応箇所

第 5 段落

Recording vocabulary and grammar is valuable, but a language cannot survive in daily life through dictionaries and recordings alone.

「語彙や文法を記録することには価値があるが、辞書や録音だけで、言語が日常生活の中で生き続けることはできない。」

It requires people who use it for ordinary purposes: speaking with children, discussing current events, sending messages, and creating new expressions. 「言語には、子どもと話すこと、時事問題を議論すること、メッセージを送ること、新しい表現を作ることなど、日常的な目的でそれを使う人々が必要である。」

解説

本文は、辞書や記録だけでは言語を生きたものとして保存できないと述べている。日常生活で実際に使用される必要があるため、選択肢は本文と反対である。

⑤ 不正解

選択肢の和訳

教室で学ぶだけで、家庭や共同体でその言語を使用しなくても流暢になれるため、授業が言語保存の最も効果的な方法だと本文は述べている。

本文の対応箇所

第 6 段落

Schools can contribute to language preservation, but classroom instruction is not sufficient by itself.

「学校は言語保存に貢献できるが、教室での指導だけでは十分ではない。」

If students encounter a minority language only during a few lessons each week and use a dominant language everywhere else, they may understand the language without becoming confident speakers.

「生徒が少数言語に接するのが週に数回の授業だけで、それ以外では支配的な言語を使うなら、その言語を理解できても、自信を持って話せるようにはならない可能性がある。」

解説

本文は、授業だけでは十分ではなく、家庭、地域団体、共同体の行事なども必要だとしている。したがって、教室での指導だけで流暢になれるという選択肢は不一致。

⑥ 不正解

選択肢の和訳

本文によれば、支配的な言語を学ぶと、必然的に少数言語を話す能力が低下し、伝統的な共同体生活に有意義に参加できなくなる。

本文の対応箇所

第 7 段落

People can become proficient in a national or international language without abandoning the language of their community.

WPM Over 150 を目指す

「人々は、自分たちの共同体の言語を捨てることなく、
国語や国際語に熟達することができる。」

Multilingualism is not an exceptional
condition; it has been common in many
societies throughout history.

「多言語使用は例外的な状態ではなく、歴史を通じて
多くの社会で一般的であった。」

解説

本文では、広く使用される言語と共同体の言語を両方
習得することが可能だと述べられている。したがって、
支配的な言語の習得が inevitably「必然的に」少数
言語を弱めるという選択肢は誤りである。

⑦ 不正解

選択肢の和訳

地域共同体にその言語を使い続ける意思がほとんどな
くても、政府や研究者が十分な資金を提供すれば、消
滅の危機にある言語を確実に存続させることができ
る。

本文の対応箇所

第 8 段落

Ultimately, a language can be preserved
only if the community itself wishes to
maintain it.

「最終的に、言語が保存されるのは、共同体自身がそ
れを維持したいと望む場合に限られる。」

Researchers and governments may provide
funding, educational materials, and
technical assistance, but they cannot
create commitment from outside.

「研究者や政府は、資金、教材、技術的支援を提供でき
るが、外部から強い意志を作り出すことはできない。」

解説

政府や研究者による支援は有益だが、共同体自身の
意思に代わることはできない。したがって、資金だけで
言語の存続を保証できるという選択肢は不一致。

⑧ 正解

選択肢の和訳

筆者は、言語をうまく保存するためには、若い話者が新
しい語彙を作り、受け継がれた表現を現代生活の要求
に合わせて変化させることを認めるべきだと主張して
いる。

本文の対応箇所

第 8 段落

Nor should preservation require a language
to remain unchanged.

「また、言語保存のために、その言語が変化しないこと
を求めるべきでもない。」

Young speakers must be free to invent
vocabulary and adapt old expressions to
new circumstances.

「若い話者は、語彙を作り出し、古い表現を新しい状況
に合わせて変化させる自由を持たなければならない。」

A language survives not by remaining
identical to its past but by continuing to
serve the changing needs of those who
speak it.

「言語が生き続けるのは、過去と同一の状態を保つこと
によってではなく、話者の変化する必要に応え続けるこ
とによってである。」

解説

選択肢の create new vocabulary は本文の
invent vocabulary に、adapt inherited
expressions は adapt old expressions to
new circumstances に対応している。したがって本
文と一致する。

全訳

言語が消滅するとき、何が失われるのか

世界では何千もの言語が話されているが、それら
すべての存続が同じように保証されているわけではな
い。教育、政府、ビジネス、デジタル通信の場で、何百
万人もの人々によって使われている言語もある。一方
で、小規模な共同体だけで話され、その話者の大部分
が高齢者であるような言語もある。子どもが親から言
語を学ばなくなると、話者の数は徐々に減少する。やが
て、その言語は完全に消滅する可能性がある。言語の

WPM Over 150 を目指す

消滅は、近代化の避けられない結果だと考えられることが多いが、その原因と影響は、一見したところよりも複雑である。

人々は通常、別の言語の方が習得しやすいという理由だけで、祖先から受け継いだ言語を捨てるわけではない。多くの場合、政治的・経済的な圧力が、人々の決断に影響を与えている。高等教育を受けたり、仕事をしたり、公共サービスを利用したりするために、支配的な言語が必要とされる場合がある。そのため親は、支配的な言語を使うことによって、子どもがより多くの機会を得られると考え、その使用を勧めることがある。また、少数言語は、貧困、農村生活、社会的に不利な立場と結び付けられることもある。話者が自分たちの言語を恥ずかしく感じるよう繰り返し仕向けられると、その言語を捨てるのが、現実的な自己防衛の手段に思える場合がある。

言語の消滅が影響を与えるのは、意思伝達だけではない。あらゆる言語には、何世代にもわたる経験を通して発達してきた表現、物語、分類方法、思考の型が含まれている。特定の環境に暮らす共同体は、地域の植物、気象条件、動物、農法について詳しい語彙を持っている場合がある。このような知識は、支配的な言語へ必ずしも容易に翻訳できるわけではない。元の言語が消滅すると、かつては身近だった区別を認識したり説明したりすることが難しくなる可能性がある。

言語の消滅は、文化的アイデンティティーを弱めることもある。歌、口承の歴史、冗談、儀式は、翻訳では完全に保存できない特有の音、リズム、連想に依存していることが多い。翻訳された物語は、基本的な出来事を伝えることはできても、原文の感情的な力やおもしろさを失う場合がある。このため、言語の消滅を、単に言葉がなくなるのではなく、家族、歴史、土地と関係を築く特有の方法が失われることだと説明する話者もいる。

しかし、消滅の危機にある言語を保存する取り組みは、いくつかの困難に直面する。語彙や文法を記録することには価値があるが、辞書や録音だけで、言語が日常生活の中で生き続けることはできない。言語には、子どもと話すこと、時事問題を議論すること、メッセージ

を送ること、新しい表現を作ることなど、日常的な目的でそれを使う人々が必要である。歴史研究の対象としてのみ扱われる言語は、正確に記録されていても、生きた意思伝達的手段としては、すでに機能していない可能性がある。

学校は言語の保存に貢献できるが、教室での指導だけでは十分ではない。生徒が少数言語に接するのが週に数回の授業だけで、それ以外のあらゆる場所で支配的な言語を使うなら、その少数言語を理解できても、自信を持って話せるようにはならない可能性がある。成功している教育計画には、家庭、地域団体、共同体の行事などが関わっていることが多い。また、そのような計画では、若者が音楽、ソーシャルメディア、スポーツなど、現代生活のさまざまな場面でその言語を使用できるようにしている。

小規模な言語を保存すると、広く使われている言語の学習を妨げることになり、社会的な成功の機会が制限されると主張する人もいる。しかし、この主張は誤った二者択一を作り出している。人々は、自分たちの共同体の言語を捨てることなく、国語や国際語に熟達することができる。多言語を使用することは、例外的な状態ではない。それは歴史を通じて、多くの社会で一般的に見られてきた。言語保存の目的は、共同体を外部社会から孤立させることなく、話者が自分たちのアイデンティティーの重要な一部を手放すことなく、より広い社会に参加できるようにすることである。

最終的に、言語を保存できるのは、共同体自身がその言語を維持したいと望む場合に限られる。研究者や政府は、資金、教材、技術的支援を提供することはできるが、外部から共同体の強い意志を作り出すことはできない。また、言語を保存するために、その言語が変化しないことを求めるべきでもない。若い話者は、新しい語彙を作り出し、古い表現を新しい状況に適応させる自由を持たなければならない。言語が生き続けるのは、過去とまったく同じ状態を保つことによってではなく、それを話す人々の変化する必要に応え続けることによってなのである。